



## 重要文化財 たんごたい 青森県丹後平古墳群出土品

1. 文化財の種別 重要文化財（考古資料）
2. 名称 青森県丹後平古墳群出土品 一括
3. 所有者 八戸市（八戸市博物館保管）
4. 文化財の概要



丹後平古墳群は、青森県八戸市東白山台・南白山台にあり、飛鳥時代中頃から平安時代前期まで継続的に築造された古墳群である。

昭和62年（1987）から昭和63年（1988）、平成6年（1994）から平成10年（1998）、平成12年（2000）に八戸市が発掘調査を実施し、一部は平成11年（1999）に国史跡に指定されている。

指定品は、飛鳥時代から平安時代にかけて造られた、小規模な円墳や土坑墓から出土した副葬品や墓前祭祀に用いられた土器の一括。なかでも、朝鮮半島で作られたとみられる黄銅製の「金装獅嚙三累環頭大刀柄頭」は国内で出土例がなく、貴重である。東北地方に特徴的に分布する蕨手刀や錫釧、多量の玉などもあり、律令制が直接及ばなかった北日本における社会や墓制の在り方を考える上で、価値が高い。

【お問合せ】  八戸市博物館

TEL:0178-44-8111 青森県八戸市大字根城字東構 35-1 HP: <http://www.hachinohe.ed.jp/haku/>

## 丹後平古墳群出土品の保存修理を行っています

八戸市では現在、国庫補助金の交付を受け「重要文化財青森県是川遺跡出土品ほか美術工芸品保存修理事業」を進めています。

平成30年10月に重要文化財に指定された「青森県丹後平古墳群出土品」の中には、修理や補強を必要とするものがあります。特に金属製品はサビにより形状が変化しやすく、経過観察と適切な保存修理を継続的に行う必要があるため、令和元年度から保存修理事業を開始しました。



令和元年度修理資料

### 保存修理工程

- ① X線写真撮影  
(資料の状態を確認)
- ② クリーニング  
(表面の埃や彩色を落とす)
- ③ 解体・再保存処理  
(脱塩作業・樹脂含浸)
- ④ 接合  
(欠損部分を樹脂で作成)
- ⑤ 台座製作
- ⑥ 保存箱製作

令和元年度は、蕨手刀4点の保存修理を行っています。修理では、細部の観察やX線撮影により状態を確認し、クリーニングを施した後、それぞれの状態に応じた修理が行われます。

蕨手刀は出土後に保存処理を行っていましたが、経年変化によってサビが進行し、ヒビや折れが生じていました。改めて保存処理を行い、接合した上で欠失部分や補強のための樹脂等を充填し、補彩して仕上げられます。また、安全に保管するために台座を作成します。

保存修理によって、これらの資料は安定した状態を保ちつつ、本来持っていた美しい姿をよみがえらせ、展示等で公開・活用することが可能になります。貴重な文化財を未来に伝え残していくために、今後も保存修理を進めていきます。

保存修理の終了した資料は、八戸市博物館常設展示室で順次公開する予定です。

